

NTT東日本山形支店との
「ICTを活用したスマートシティ社会実装による
地域活性化に向けた連携に関する協定」について

令和3年6月28日

長井市

総合政策課

デジタル推進室

- これまでの長井市のデジタル化の取組について
- NTT東日本山形支店との連携協定について
- スマートシティ実現に向けた主な取組（検討中）

【令和2年3月】

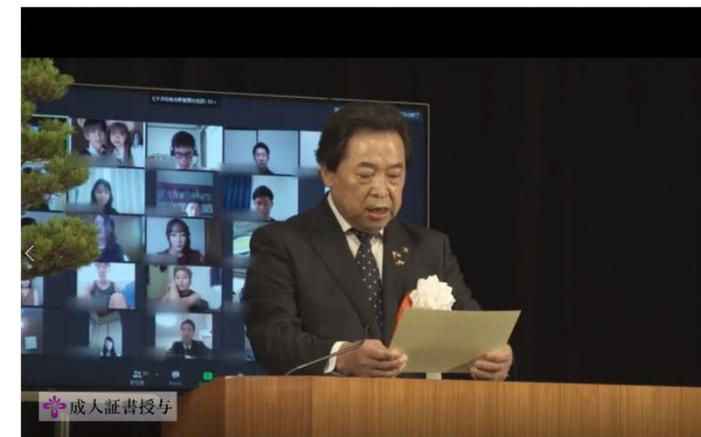
- 「第2期長井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、「Society5.0の実現」を掲げる

【令和2年7月】

- 国のデジタル専門人材派遣制度を活用し、NTT東日本本社より職員の派遣を受け、デジタル推進室長を委嘱
- 総合政策課にデジタル推進室長及び若手職員15名で構成するデジタル推進室を設置

【令和2年8月】

- 「Zoom」を活用した、オンライン成人式の開催
- 「Remo」を活用した、新成人の懇親会の開催



【令和2年12月】

- 山形新聞社主催、NTT東日本山形支店共催の「やまがたe-Sports大会2020」に協力し、市内のタスビルを会場として長井予選会を開催

【令和3年2月】

- デジタル地域通貨「ながいコイン」の実証実験を実施



【令和3年3月】

- NTT東日本山形支店と「ICTを活用したスマートシティ社会実装による地域活性化に向けた連携に関する協定」を締結

【ながいコイン実証実験概要】

地域循環経済の推進

お得な地域振興券による
市外消費流入&地産地消推進

キャッシュレスの推進

簡単に操作可能なQR決済で
決済行為をデジタル化

データ利活用

実証実験レポートを活用した
施策への反映

長井市

- ・モニターの募集
- ・利用可能店舗・施設の開拓
- ・現地でのPR

NTT東日本

- ・店舗・施設環境の配備
- ・実証全体のマネジメント
(NTTカードソリューション)
- ・地域通貨サービスによる実証の展開

デジタル地域通貨 ながいコイン

市民モニター



■長井市民

- ・1,000円相当のコイン配布
⇒地元消費の意欲向上
- ・アンケートへのご協力
⇒市民視線での改善

地域産業の活性化
地域づくり活動の充実

利用可能店舗・施設

道の駅



川のみなと長井

直売所



おらんだ市場
菜なポート

カフェ



MANY'S CAFE

ホテル内ジム・飲食店



タスパークホテル

ホテル内売店等



はぎ苑

日用品販売



伊佐沢コミュニ
ティセンター



旅行客モニター

■TAS+はぎ苑の宿泊者

- ・1,000円相当のコイン配布
⇒誘客、満足度向上
- ・アンケートへのご協力依頼
⇒観光客誘致の改善

関係人口の創出・拡大
観光交流の充実

【ながいコイン利用方法】

「ながいコイン」での支払いの流れ

Step 1



レジ係員に
「ながいコインで支払います」
と伝えます

Step 2

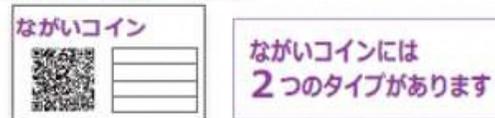
スマートフォン



ながいコインマイページ

支払い用 QR コード

紙媒体 (カード)



ながいコインには
2つのタイプがあります

スマートフォンの場合はマイページから
支払い用の QR コードを表示します。
紙媒体 (カード) の場合は QR コードが
印刷されているのでそのまま使用できます。

Step 3



QR コードをお店の人に
読み込んでもらいます。

Step 4

決済完了



読み込みが終わると
支払い完了です。

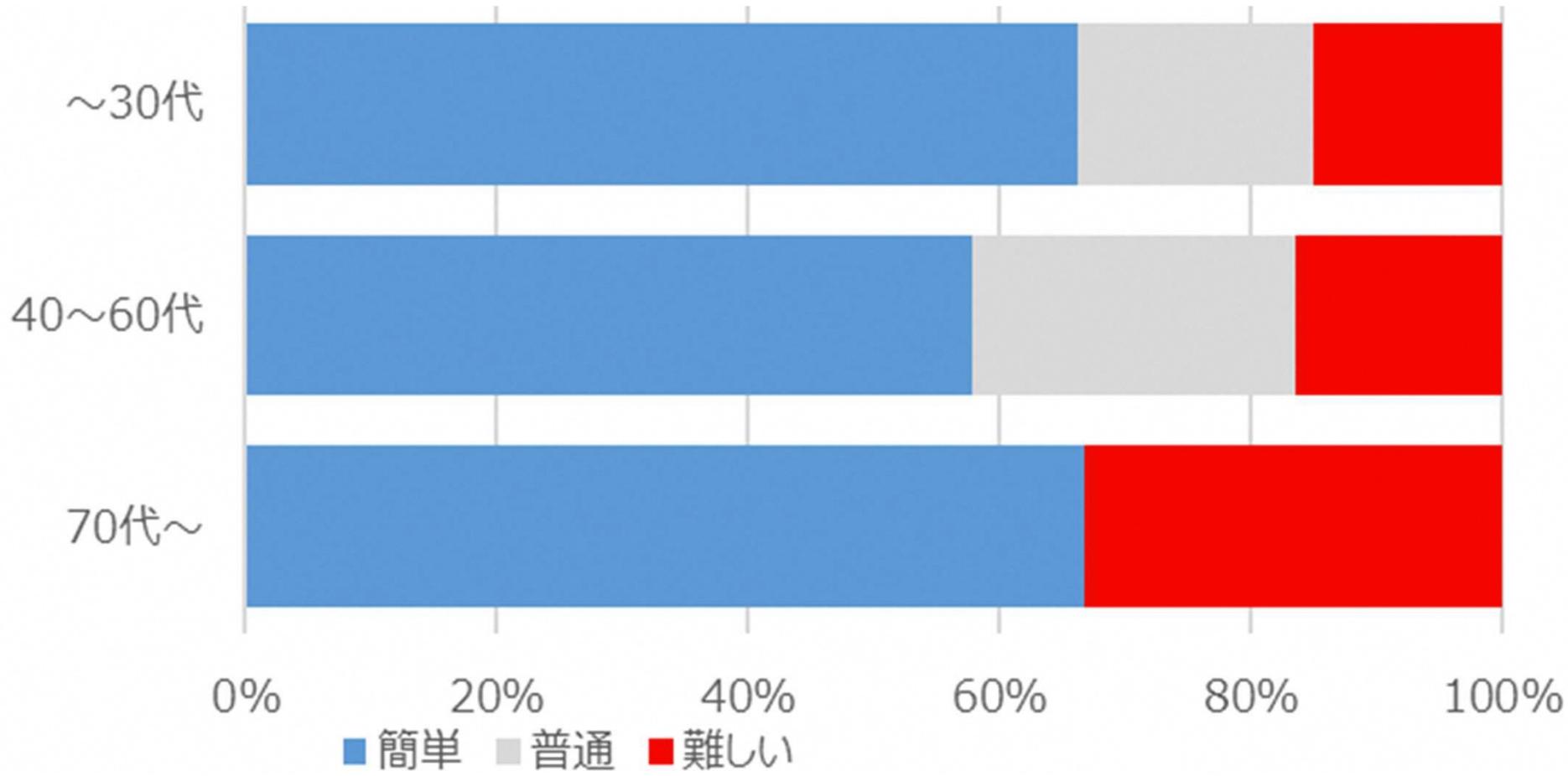
【モニタ区分】

区分	合計	モニタ区分	
		市民	観光客
合計	1,000	826	174
紙	613	439	174
スマホ	387	387	(募集なし)

【年齢別市民モニタ数】

区分	人口 (1/20時点)	モニタ数	
			対人口比
10歳未満	1,798	28	1.56%
10代	2,229	42	1.88%
20代	2,142	69	3.22%
30代	2,555	138	5.40%
40代	3,101	144	4.64%
50代	3,228	152	4.71%
60代	3,978	136	3.42%
70代	3,681	82	2.23%
80代以上	3,428	30	0.88%
未回答	0	5	-
合計	26,140	826	3.16%

【スマホ利用決済時使用感】



【利用者モニタの声】

■よかった点

- 決済が**簡単・スピーディー**だった
- 現金のやりとりをしなくてよい
- カードタイプでQRを見せるだけなのは楽

■改善点

- スマホ申込・利用までの**手順を簡略化**してほしい
- 店員が不慣れ、操作に手間取っていた

■増やしてほしい機能

- **チャージ**(クレジットカード連携)
- **ポイント還元**・バック機能、ポイント配布
- アプリ化

■対応してほしい用途

- スーパー・コンビニ・ホームセンターでの支払い
- 市窓口での支払い（税金・手数料 等）
- 市バス・鉄道・タクシーでの支払い
- 地元飲食店（地域の全ての店舗）

■その他意見

- 利用可能店舗を広げてほしい
- 既存キャッシュレスサービスよりお得なら使いたい
- 高齢者向けに簡単にしてほしい

■ 長井市の課題

- 人口減少により、交通や商業といった「都市機能」、子どもの見守りや災害発生時の声かけといった市民の「安心な生活を守る機能」が低下



☆ 未来技術を活用したスマートシティの実現により、人手不足を補いながら、生活に必要な機能やサービスの利便性を飛躍的に高める

■ 連携協定期間

- 2021年3月15日～2026年3月31日

■ 役割分担

- 長井市
 - ⇒ 地域課題、ニーズ把握、関連プレイヤーとの連携、具体的取り組みに関連する「新技術等の実証フィールド提供」等
- NTT東日本山形支店
 - ⇒ 保有するアセットおよび実証実験を含む「新技術等の提供」等

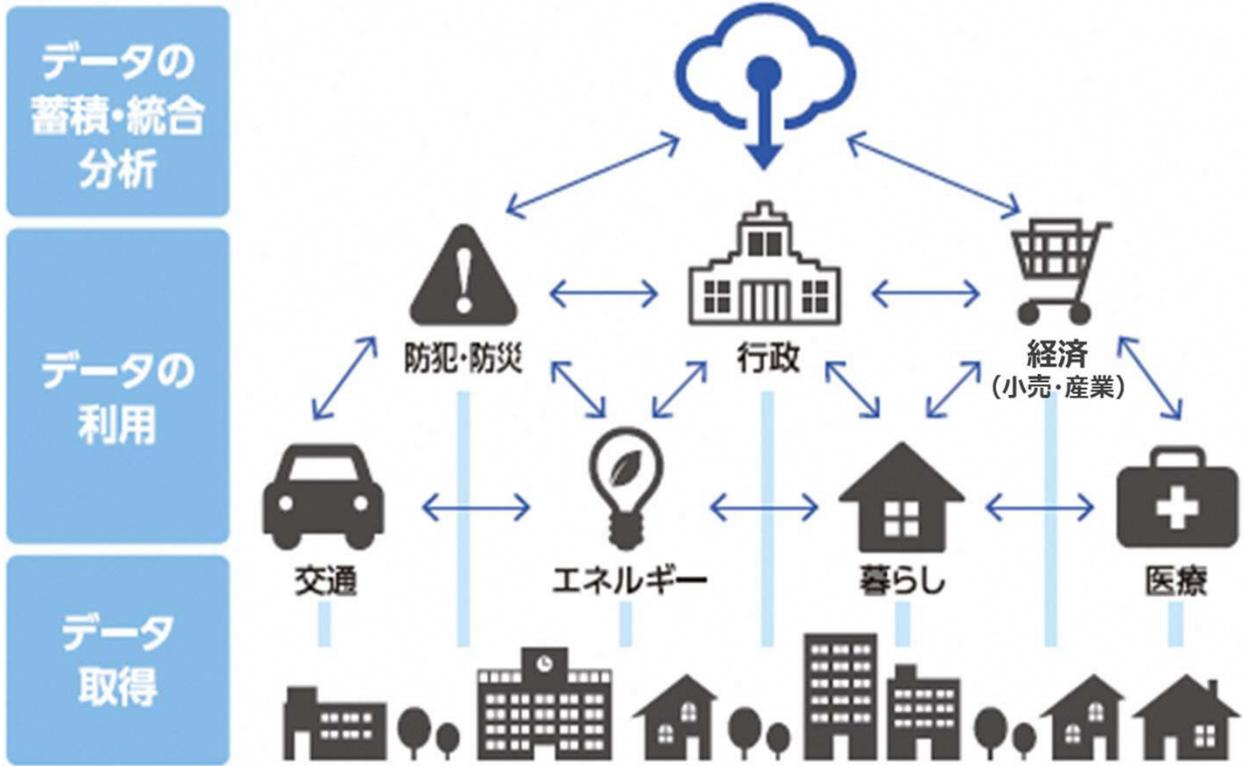
長井市

実証フィールドの提供

NTT東日本 山形支店

新技術等の提供

—— 分野横断的なスマートシティの実現 ——
(地域サービスの持続的なアップデート)



(報道発表資料)

2021年3月19日

長井市
NTT東日本山形支店

山形県長井市とNTT東日本山形支店との「地域活性化を目的とした地方都市型スマートシティの社会実装に向けた連携協定」の締結について

～持続的な地方都市型スマートシティモデルの創出に向けて～

山形県長井市(市長: 内谷重治、以下「長井市」と)とNTT東日本山形支店(支店長: 渡会俊輔、以下「NTT東日本」)は、長井市における地方都市型スマートシティの社会実装に向けて、ICTを活用した地域活性化をめざした連携協定を締結します。また、2021年3月22日(月)13:15より、長井市役所にて連携協定の締結式を実施します。

1. 背景と目的

近年、少子高齢化に伴う人口減少、地域の担い手不足や財政的な制約等、従来型の経済や社会システムでは立ち行かない様々な課題が顕在化しています。また、日本の自治体の多くが人口10万人以下の中小規模の自治体である中で、長井市も同様に人口約27万人の地方都市として同様の課題を抱えています。

長井市は、人口の急減に対応するため、2015年度に策定した「長井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で、「教育・子育て」をメインテーマに、教育・子育て環境の充実をはじめ、移住交流の促進、働く場の創出、中心市街地の活性化、公共交通の利便性向上などに取り組んできました。また、2020年度より始まった「第2期長井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、これまでの取り組みに加え、新たに未来への取り組みとして「Society5.0の実現」を掲げており、未来技術を活用した地域課題の解決に取り組むこととしています。

一方、NTT東日本は、これまで地域インフラを支えてきた高品質で安定した通信ネットワークやICT技術に加え、近年は従来の発想にとらわれない新たな分野の地域課題の解決に取り組んでまいりました。

そこで、今回、長井市と、交通、小売、産業、教育、文化、医療・福祉、生活・娯楽等の幅広い分野の横断的なスマートシティの社会実装に取り組めます。しかしながら、単なるデジタル化に留まらない地域住民の生活様式の変革も含めたデジタルトランスフォーメーションの実現には、中長期的な取り組みが必要不可欠です。

そのため、長井市とNTT東日本は、「地域活性化を目的とした地方都市型スマートシティの社会実装に向けた連携協定」を締結した上で、スマートシティの社会実装に取り組む、地方都市のモデルケースの創出に貢献していきます。

本協定に基づく取り組みの一環として、長井市で課題視されている公共交通の利便性・効率性の向上や買い物難民等の地域住民の課題解決に向けて、交通・購買のデジタル化による域内経済活性化やデータ活用の有効性の実証を図る「MaaS型コンパクトシティ事業」を実施します。

2. 協定締結日

2021年3月15日

3. 取り組みの概要

＜スマートシティ実現に向けた取り組みのイメージ＞

―― 分野横断的なスマートシティの実現 ――
(地域サービスの持続的なアップデート)



地方都市型スマートシティの社会実装に向けて、「デジタル地域通貨」や「MaaS型コンパクトシティ」の事業に加え、産業、教育、文化、医療・福祉、生活・娯楽等の幅広い分野を横断的に取り組むことで、中長期的な視点で、地域サービスの持続的かつ複合的なアップデートの実現をめざします。

＜MaaS型コンパクトシティ事業の取り組みイメージ＞

―― MaaS型コンパクトシティ経済圏の確立 ――

生活関連施設の集約 × 集約エリアを中心とした交通網の最適化



NTT東日本山形支店HPより

URL:<https://www.ntteast.co.jp/yamagata/new/2020.html>

スマートシティ実現に向けた主な取組（検討中）

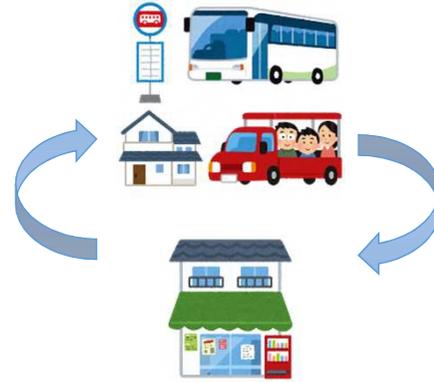
【地域通貨】



ながいコインを本格的に導入し、地域循環型経済を実現するとともに決済データを有効に活用

【MaaS型コンパクトシティ】

MaaS
地域内交通の最適化



スマートストア
購買等の機能の集約

交通・購買のデジタル化による地域内経済活性化やデータ活用の有効性を実証

【その他の取組】

- 子ども見守り
- 河川水位の監視
- 有害鳥獣見回り
- スマートシティアプリの提供
- ながいコインの本格導入
- ワークেশョン、eスポーツの実施
- ドローンの普及
- DXセミナー、DXコンテスト開催
- 高齢者向けデジタル機器操作教室
- 取組のデータのオープンデータ化

